

赤ちゃんのB型肝炎ワクチン

B型肝炎は母子感染（B型肝炎を持ったお母さんから分娩時に子どもにうつる）や水平感染（父親や家族、友人、ウイルスに汚染された血液の輸血や性行為などでうつる）だけでなく、知らない間にかかることがあります。B型肝炎ウイルスに感染しても誰もがキャリア（持続感染、ウイルスを体内に保有した状態）になるわけではありません。でも赤ちゃんは、特に3歳未満の乳児がB型肝炎ウイルスに感染するとキャリアになる危険性がずっと高くなります。キャリアになると慢性肝炎になりやすく、症状、肝硬変から肝臓がんに進行することもあります。

赤ちゃんが生まれたら、できるだけ早いうちにB型肝炎ウイルスから守ることが、とても大切なことです。